



## こんなことが出来ます!

どちらがより急所に有効打を当てているかを、実際に打撃を当てることなく正確に判定することができます!

## 【従来の問題点】

- ①ボクシングの試合は、選手同士が実際に打撃を与え合う形式しか存在しません。しかし、現在は健康を目的にボクシングを行う方が増えており、実際に打撃を当てるのではなく、安全性を重視した「寸止め」のボクシング試合が必要とされています。しかし、打撃を当てる形式では正確なジャッジが極めて難しいという課題があります。
- ②そのため、打撃を実際に当てる必要なくパンチヒットを判定できるジャッジシステムが必要です。

## 【解決したポイント】

- ①打撃を当てる前提とすることで、老若男女や体重差に関係なく、安心・安全なボクシング試合を実現しました。さらに、相手に衝撃を与えることなく、有効打として認識できるシステム・装置の開発に成功しました。
- ②効果音や映像効果を取り入れることで、ゲーム性を一層高めることにも成功しました。

## 技術の概要

- ①グローブから発信される電波を、急所に設置されたアンテナで受信します。有効な攻撃と判断された場合、アンテナと接続された送信機からデータが送信され、パソコンでそのデータを受信し、得点として表示する仕組みです。
- ②試合で使用するグローブには固有のIDが付与されており、このIDをシステムで管理しています。そのため、相手の攻撃を自分のグローブでブロックした場合は、有効な攻撃とはみなされません。

## 図・写真



## 発明者からのメッセージ

当たらない形式のため、老若男女問わず、試合ながらのボクシングを実体験することができます。選手の皆様には試合前の練習にもご活用いただけます。また、その他の格闘技スポーツにも応用可能です。

## ライセンス情報

- 1) 開放特許情報DB番号 / L2012000002
- 2) 特許番号 / 特許第5057178号
- 3) 公開番号 / 特開2011-104192
- 4) 出願番号 / 特願2009-263777
- 5) 出願日 / 2009.11.19
- 6) 発明の名称 / 「離隔攻撃判定装置」
- 7) 特許権者 / 株式会社日本マイクロシステム、株式会社クリエイティブサポート
- 8) 代表発明者 / 高島 主男、伊田 武志
- 9) 實施権許諾・譲渡種別  許諾  譲渡
- 10) 共同開発・研究の意思  有  無
- 11) サンプル提供の予定  有  無
- 12) 技術指導の意思  有  無
- 13) 実施実績  有  試作  実験  無
- 14) 事業化実績  有  無
- 15) 實施権許諾実績  有  無

## 連絡先

- 1) 所属 / 公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名 / 経営支援部 知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号 / 0857-52-6722
- 4) E-mail / chizai@toriton.or.jp